

ちょうふ環境市民懇談会からのお知らせ ニュースレター

39

発行：2004年2月

ちょうふ環境市民懇談会 第3回全体会開催せまる!

～調布の自然に触れてみませんか～

2004.2.14 (土) 11:00～16:00

いつでも入場できます

調布市文化会館たづくり12階 大会議場
自然環境に興味のある方なら誰でも参加できます

調布市の自然を保全する目的で、市民、行政、事業者がパートナーシップにより活動する場として発足した「ちょうふ環境市民懇談会」の活動も3年が過ぎ、来る2004年2月14日、第3回全体会を開催することとなりました。

今回の全体会では、一昨年に発表した映像記録「調布里山物語」の再演を望む声にお応えして、再演することとしました。年々、自然が減る一方の調布において、いまだに里山の風景が見られることは奇跡に近いことと言っても過言ではありません。その貴重な調布の里山がこれからも残されることを祈りつつ、その風景を今一度ご覧いただきます。

また当日、会場では調布の自然を守るために活動している各グループによる活動内容の展示・紹介を行います。

「調布里山物語」の上映	市内環境活動グループの紹介コーナー
11:30～12:00	
14:30～15:00	

参加は無料です。調布の自然に興味のある方、ぜひのぞきにきてください！おまちしております！

主催：ちょうふ環境市民懇談会

問合せ；環境保全課 電話；81-7086

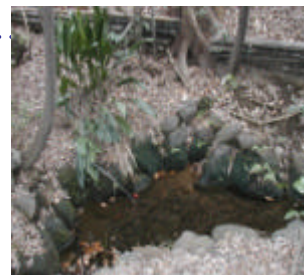
調布の自然

水辺編 NO.10 ～実篤公園の湧水～

武蔵野の風景を気に入り、移り住んだ武者小路実篤の旧邸は、若葉町の国分寺崖線沿いにあります。仙川駅～東部公民館～実篤記念公園に入ると、急な坂になり、晴れた日には富士山も望めます。実篤が散策した庭は、市の公園として現在、市民参加で保全活動がされています。

崖線からは、湧水がでていますが、東部地域では、かつては、人間町1丁目まではけ下に「9カ所」の湧水があったそうです。現在は、実篤公園に唯一残っているだけです。現若葉小・第四中あたりには、腰まである深いたんぼがひろがり、湧水が生活の中で活用されていました。若葉町・仙川・人間町の畑や屋敷林等が湧水を育み、豊かな生態系と自然をもたらしました。

湧水の復活のためには、緑の保全と雨水を下水道に流してしまうのではなく、大地に還元する『雨水浸透マス』の設置がかかせません。市でも現在、一戸建てやアパートなどに設置のための補助をしています。一人ひとりができることから湧水や緑の保全に関われればいいですね。(安部)



(かなりの湧水量が確認されます)



1月18日(日) 根本さんをむかえて冬の方形柵調査と樹林地の西側樹林地の観察会をしました。方形柵調査は、冬の時期とあって総種数や群度も夏の1/2でしたが、今後、3年間の調査結果をどのようにまとめていくのか課題です。

西側樹林地には、くぬぎの落ち葉が大量にあり、皆で探すと幹周り3メートルもある大木も2本もありました。民家に隣接したところには、椿やタイサンボクといった花木が密生し、かつての植木だめがしのばれます。隣地からは孟宗竹がはえてきてこれらの活用も楽しみです。また、駐車場に近いところには、狸の肥溜めがありました。全体をみると、うっそうとした区域と笹の生えた明るい林が混在し、今後、区域にわけて西側樹林地の保全を話しあっていく予定です。(安部)

駐車場からみた樹林地の全体像



フモトシダ西側樹林地で発見。ヘニシダと違い胞子嚢が並列している。暖地に生育



雑木林塾

1月24日(土)曇り 参加者20名(職員含む)

AM:市役所にて講義 PM:ロープワークの後ヘビヤマにて実習

寒に入って寒さも増した1月24日、第4回雑木林塾は「座学・雑木林とは」と題して、市役所にて小池講師からレクチャーを受けました。雑木林は様々な面において人の暮らしを支えていたことがわかりましたが、なかでも「子どもの遊び」という面では、変化する自然を相手に様々な工夫をこらして遊ぶ昔の子どもたちを想像し、うらやましくなりました。

午後はロープワークの実習の後、フィールド、ヘビヤマへ。前回切り出したしの竹を使ってウグイス笛の製作と笹茶の葉摘みを行いました。ウグイス笛は大小2本の竹をナイフで削って組み合わせる音を出すのですが、合わせ方によって音が出たり出なかったり……。始めは皆音が出せず四苦八苦しましたが、「ピー」と一人の見事な音が響くと皆コツをつかんだのか次々に音が出せるようになり、ヘビヤマに塾生の様々な音が響き渡りました。

「音を出す。」たったこれだけのことがどんなに楽しいことか実感した1日でした。

冬の雑木林は葉を落とした木々の間から陽光が差し込み以外と明るく、足元も落ち葉のクッションのせいかなしか温かく感じられました。

帰り際、笛の音に誘われてシジュウカラたちもやって来て、美しい歌声を聞かせてくれました。(長谷川)



2本の笹を組み合わせる



笹を削って穴をあける

2月29日に行われるガイドウォーク「冬の樹木を見て歩く・ちょうふの昔をしのぶ」の下見調査実施
詳しい内容は当日のお楽しみです！！

当日登場する樹木豆知識

禅寺丸(武蔵野柿)

健保2年(1214年)柿生村の王禅寺の等海上人が柿生の山中から発見して境内へ移した柿木。当地方の人々は、このつぎほをもらって接木し、武蔵野国一体に広まったと言われている。江戸時代から明治まで食料として、また甘味料として大切にされ、調布の農家もこれを手車で神田近辺まで売りに行き、大事な現金収入としていた。

モチノキ

常緑高木。雌雄別株。ふつう10m位になるといわれるが、調布のこのモチノキはそれよりはるかに大きく、樹齢600年といわれている。花はめだたないが秋から冬にかけて赤い実がなる。昭和30年頃までは、樹皮を剥いて水につけ腐らせてから白などについて鳥モチをつくった。セミやメジロを採った記憶のある方も多と思われる。

エノキ

落葉高木。昔から街道の一里塚、橋のたもとなどに植えられることが多く、各地にいわれのある大木が多い。ここ調布の一里塚にも昭和40年頃まで樹齢200年を超える大きなエノキがあったが危険防止のため伐採された。秋に赤褐色になる実は甘い。オオムラサキの幼虫の餌になることでも有名。

ちょうふDE田んぼ日記その10 田んぼの草花の味



1月11日。一見してスズメノカタビラばかりに見える冬の田んぼにも、いろいろな草花や、生き物を見つけることができました。その中で、今回は食べられるもの特集をしてみます。いま、レンゲやヨメナの若芽が生えています。もう少ししたら炒めもの、お浸しなどにできるかもしれません。春の七草のハハコグサ、ナズナ、(ウシ)ハコベ等もあります。ノビルはぬたや生で味噌と和えて食べても新鮮な辛みを楽しめます。ギシギシは独特のぬめりと酸味があります。佐須用水が野川にいたる間にはセリ、オランダガラシ。ホタル園のカワニナに混じってやってきたと思われるヒメタニシが見つかりました(食べるほどのものではありません)

去年と比べて食べられる野草の生育が良くないように感じました。あと2、3ヶ月で地面の下からカエルやザリガニが冬眠から覚める頃には、みな勢い良くのびていることでしょう。ほろ苦くすこし甘い、春の味と香りをいつまでも残していきたいものです。

(田んぼの学校スタッフ こんどう)

どんぐり林公園活動日記

1月25日(日)、富士見町地区協議会主催でどんぐり林公園の落ち葉だめの入れかえと、腐葉土の散布を行いました。



10時に集合の後、渡辺代表のごあいさつ。次に講師の小池さんから作業の説明を受け、さっそく作業開始。落ち葉だめには、小池さんも絶賛の見事な腐葉土が出来上がっており、みんなで園内に散布しました。

次に、空いた落ち葉だめに、落ち葉を集める作業。積もった落ち葉は、量も多く、大人の膝くらいの深さになっている場所ありましたが、効率よく作業が進みましたので比較的早く終わりました。しかし、葉を踏み固める役目がいません。そこで、公園で遊んでいたお母さんと3人の女兒を急遽スカウト。不安そうだった子供もやがて慣れ、背丈より高く積まれた葉の中でおおはしゃぎ。自然の素晴らしさを味わっていただけたと思います。そんなこんなで延べ20人程の参加者により、公園東側部分の作業を午後1時頃終了しました。(A)



ガイドウォーク (環境モニター)

冬の樹木を見て歩く・
ちょうふの昔をしのぶ

電通大構内の雑木林を観察し、旧甲州街道の街並みを歩きます。ご案内は、調布市環境モニターがいたします

日時：2月29日(日) 10:00～12:30

定員：先着20名

申し込み：環境保全課(81-7086)に
2/27(金)17時まで

集合場所：調布駅南口噴水広場

コース：調布駅～旧甲州街道～電通大雑木林。

その他：飲み物をご用意下さい。

小雨決行。荒天時のみ中止

まちづくり条例についての連続学習会

- 多くのご参加をお待ちしています。

調布自治研センター主催連続学習会

第1回 『まちづくり条例について』

2月10日(火) 18時半～

市役所第6会議室

講師：伊藤さん

(自治労・自治研センター・

NPO ランポ理事)

第2回 『自治基本条例について』

2月24日(火) 18時半

場所未定

講師：辻山さん

(元中大教授・自治総研)

雑木林塾

日時：2月28日(土) 9:00～

29日(日) 10:00～

集合場所：かに山

内容：竹炭作り

持ち物：軍手・昼食(おにぎり等)・筆記用具・

作業できる服(あればノコギリ等)

問い合わせ：環境保全課(81-7086)

入間 樹林の会

日時：2月15日(日) 9:30～

集合場所：入間地域福祉センター

持ち物：軍手・筆記用具

作業できる服(あればノコギリ等)

問い合わせ：環境保全課(81-7086)

<会議のスケジュール>

日時	場所	活動名/内容
2月2日(月) 18:30～20:30	市役所3階 第1会議室	環境モニター 連絡会
2月5日(木) 18:30～20:30	たづくり3階 304会議室	環境市民懇談会 運営委員会
2月12日(木) 18:30～20:30	市役所4階 第4会議室	入間・樹林の会 世話人会
2月19日(木) 18:30～20:30	市役所1階に 掲示	環境市民懇談会 連絡会
2月23日(月) 13:30～	市役所3階 環境部会議室	ニューズレター 編集会議

ちょうふ環境市民懇談会メーリングリストに参加しませんか？

ちょうふ環境市民懇談会では、多くの方と日常的に意見交換を行うために、メーリングリストを運営しています。参加希望の方は下記アドレスにご連絡ください。問合せ・申込み:(尾辻)

kp5y-otj@asahi-net.or.jp

環境市民懇談会 連絡会議 に参加してみませんか？

連絡会議は各プロジェクトや市内で活動しているグループの情報交換の場です。現在活動している方、これから何かやってみたい方、どなたでもお気軽にご参加ください。

【編集後記】

ドングリ林でシイタケを発見。2002年3月雑木林塾最後にシイタケ菌のこま打ちをしたものがやっと出てきたのです。たった1本ですが自然の力の素晴らしさに感激！

(K)

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動をパートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。ぜひ、様々な環境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課

TEL：0424-81-7086

E-mail：kankyout@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会